

白岡市地域クラブ活動推進事業

部活動の地域移行の取り組みについて



令和7年2月14日（金）13：15～

白岡市の人口 52,403人 (R7.2.1)



中学校生徒数 1243名

(1年:418名、2年:400名、3年:425名)



部活動数 50

(運動部 35 文化部 15)

白岡市内中学校の部活動一覧表

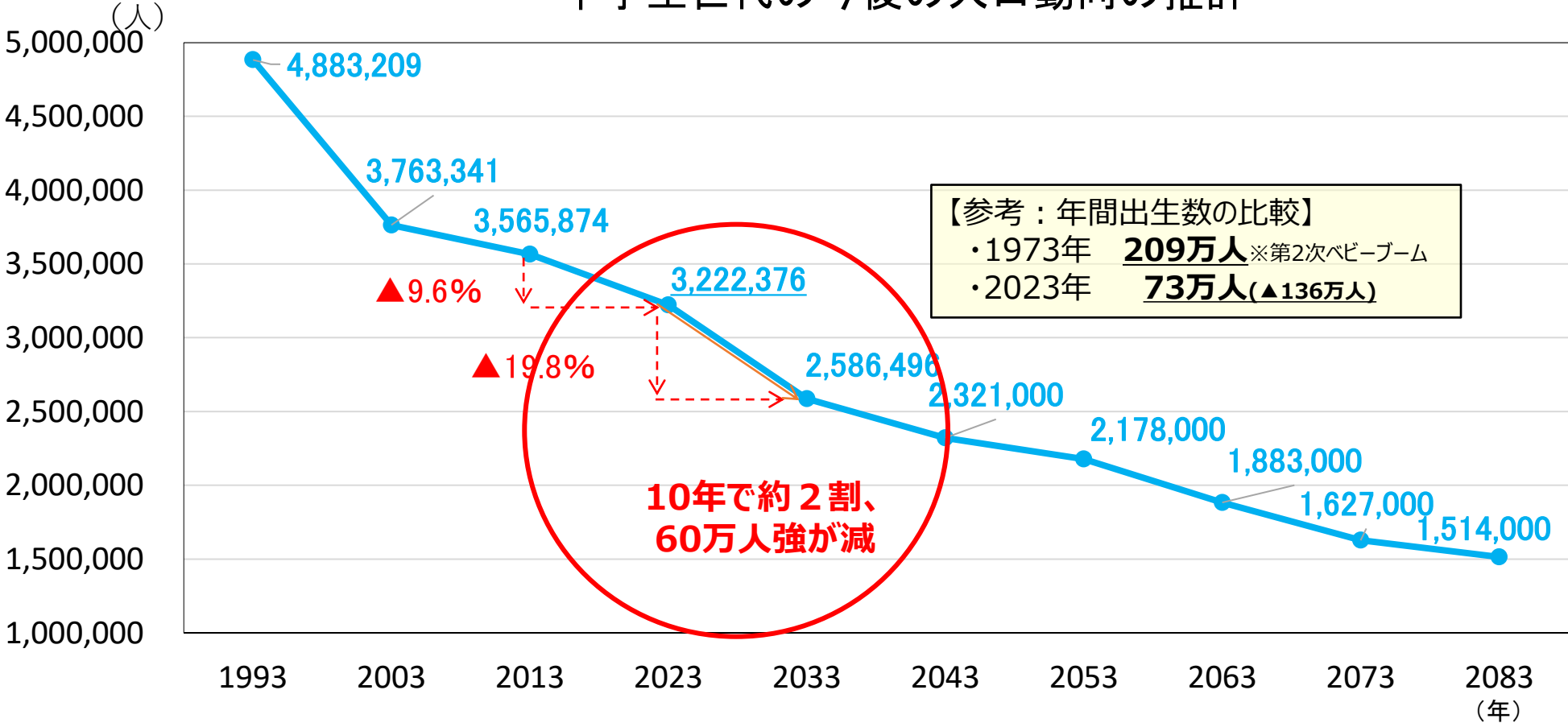


	篠津中		菁莪中		南中		白岡中	
運動部	軟式野球	男子			軟式野球	男女	軟式野球	男女
	サッカー	男女			サッカー	男女	サッカー	男女
	バスケットボール	男子	バスケットボール	男子	バスケットボール	男子	バスケットボール	男子
	バスケットボール	女子	バスケットボール	女子	バスケットボール	女子	バスケットボール	女子
	バレーボール	女子			バレーボール	女子	バレーボール	女子
					卓球	男子	卓球	男子
	卓球	女子	卓球	女子			卓球	女子
					ソフトボール	女子		
	ソフトテニス	男子	ソフトテニス	男子	ソフトテニス	男子	ソフトテニス	男子
	ソフトテニス	女子	ソフトテニス	女子	ソフトテニス	女子	ソフトテニス	女子
	剣道	男女			剣道	男女	剣道	男女
	バドミントン	女子			陸上	男女		
文化部	吹奏楽	男女	吹奏楽	男女	吹奏楽	男女	吹奏楽	男女
	情報技術	男女		男女	科学	男女	技術コンピューター	男女
	美術	男女	美術	男女	美術	男女	美術	男女
	文芸	男女	創作	男女	家政	男女	茶華道	男女

少子化・人口減少の加速化

- 学校数の減少、それ以上に進む少子化で生徒数／学校はさらに小さくなる中、部活動は持続困難。

中学生世代の今後の人口動向の推計



中学生世代の人口数は4月1日時点において12～14歳の者の数
 厚生労働省作成「人口動態統計」月報（2023年4月）」により算出するとともに、将来の出生者数について、国立社会保障・人口政策研究所作成「日本の将来推計人口（令和5年推計）詳細結果表」の「1. 出生中位（死亡中位）推計」を基に算出。

（運営協議会資料から）

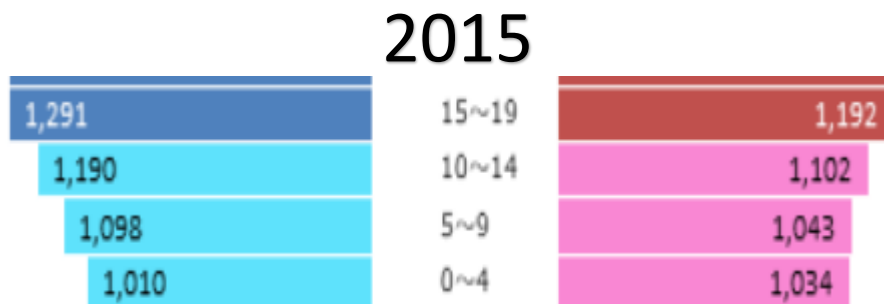
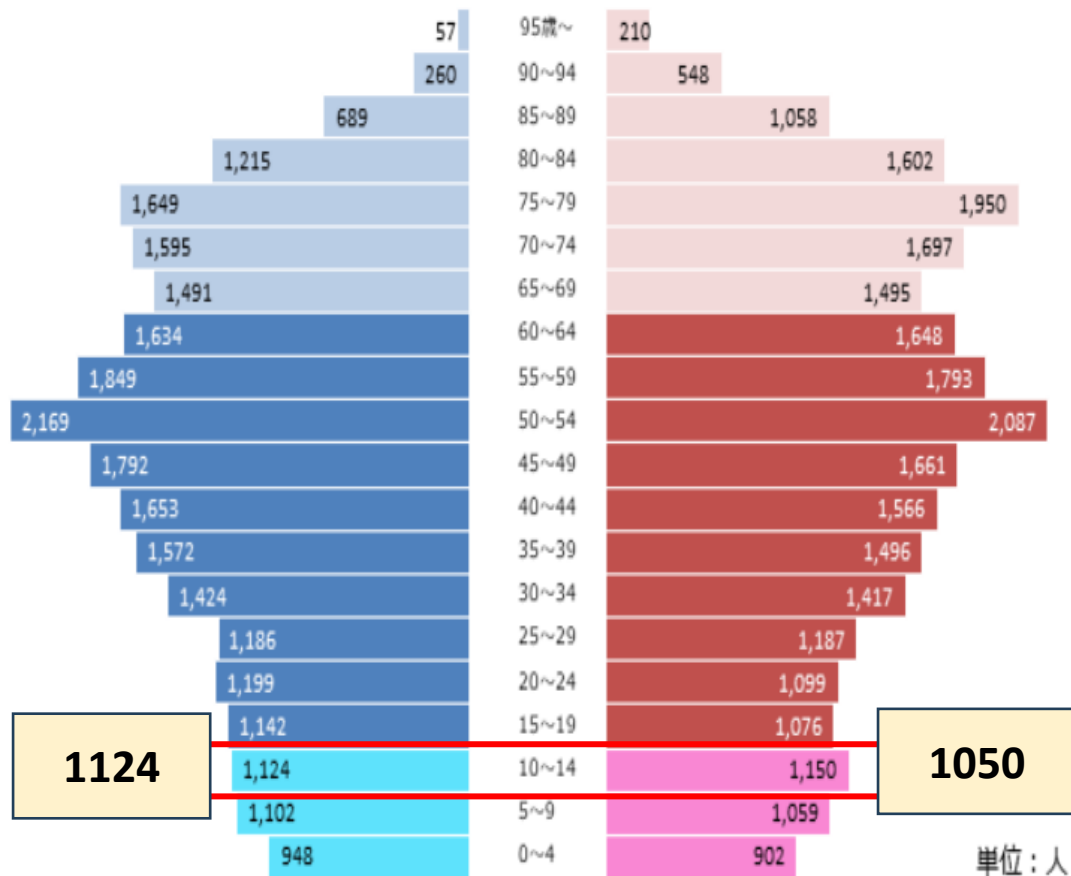
白岡市の児童・生徒の動向



2025

男性計：25,750人

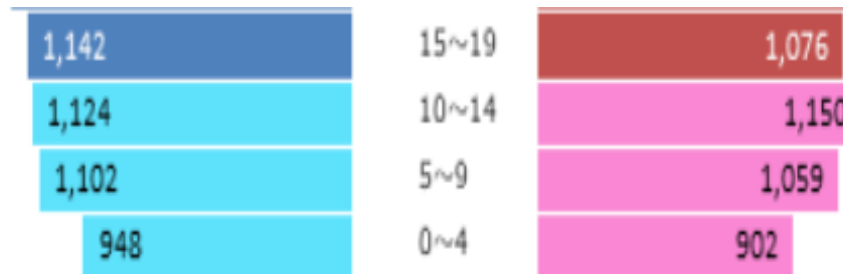
女性計：26,701人



10~14歳 男女計：2,292

△18人
99.2%

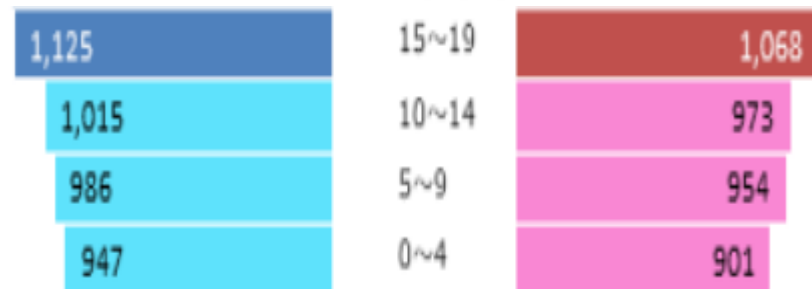
2025



10~14歳 男女計：2,274

△286人
87.4%

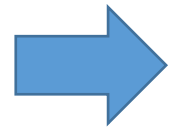
2035



10~14歳 男女計：1,988

(運営協議会資料から)

「部活動地域移行」を進める理由

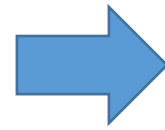


全国的に少子化、教員の長時間勤務の問題

(10年後には…中学生世代60万人減少)

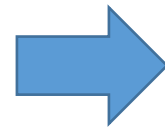


少子化に伴い、
部活動が成り立たない



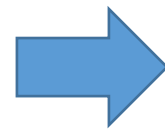
- チームとしての練習ができない
- 単独で大会に出られない

教員の大きな負担



- 休日に部活動を指導する顧問の負担
- 未経験の種目を指導する負担

生徒や保護者の要望



- 学校にやりたい部活がない
- 顧問によっては、専門性を有しない先生が担当している

中学校部活動と地域クラブ活動の比較

	中学校部活動	地域クラブ活動
位置付け	<u>学校管理下の教育活動ではあるが 教育課程外の活動</u>	<u>学校管理下外の活動</u>
活動内容	<u>生徒による主体的な活動</u>	<u>生徒による主体的な活動</u>
指導者	教職員	地域クラブ活動指導員 ※教職員の場合は兼職
活動日数	平日 4 日以内 土日 1 日以内	休日週 2 日以内 ※中学校部活動と合わせて週 5 日以内
活動場所	学校施設	学校施設・公共施設
鍵の管理	学校（教職員）	管理団体（地域クラブ活動指導員）
手当・謝金	2, 7 0 0 円 / 1 日 (休日 2 時間 1 分以上)	1,600円～2,000円 / 1 時間 ※原則、1 日 3 時間以内
生徒の保険	日本スポーツ振興センター 災害共済給付制度	スポーツ安全保険 または同等の保険
指導者の保険	労務災害 等	スポーツ安全保険または同等の保険
責任の所在	校長、設置者	管理団体、設置者

地域クラブ活動における管理・運営のイメージ

白岡市

委託

地域部活動の管理・運営を担う委託先団体

- 小・中学校
- 〇〇大学
- スポーツ少年団
- 総合型地域SC
- 〇〇協会
- 〇〇連盟

教職員
の場合は
兼職兼業

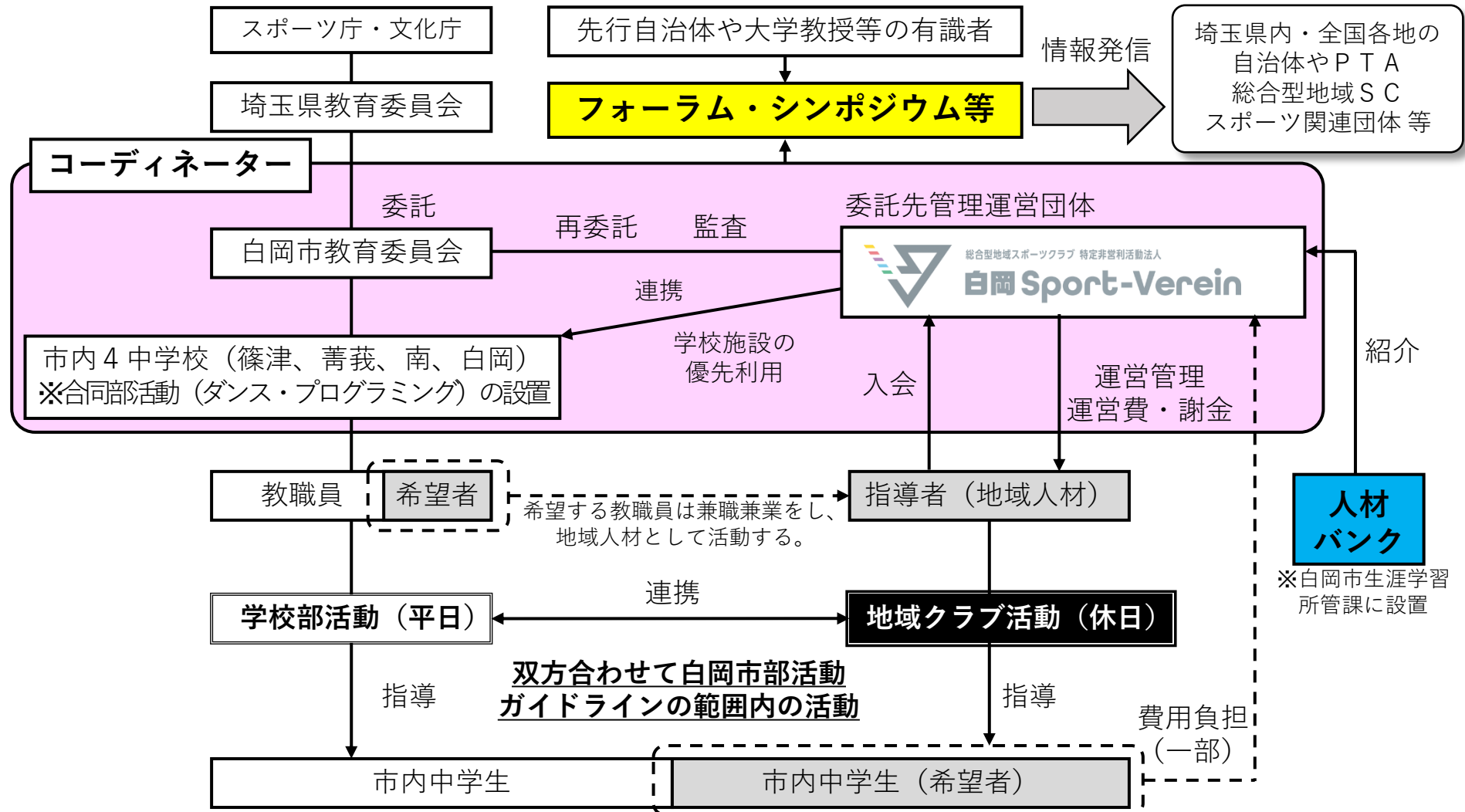
自治体からも協力を依頼

- 指導者
- 指導者
- 指導者
- 指導者
- 指導者
- 指導者
- 指導者
- 指導者

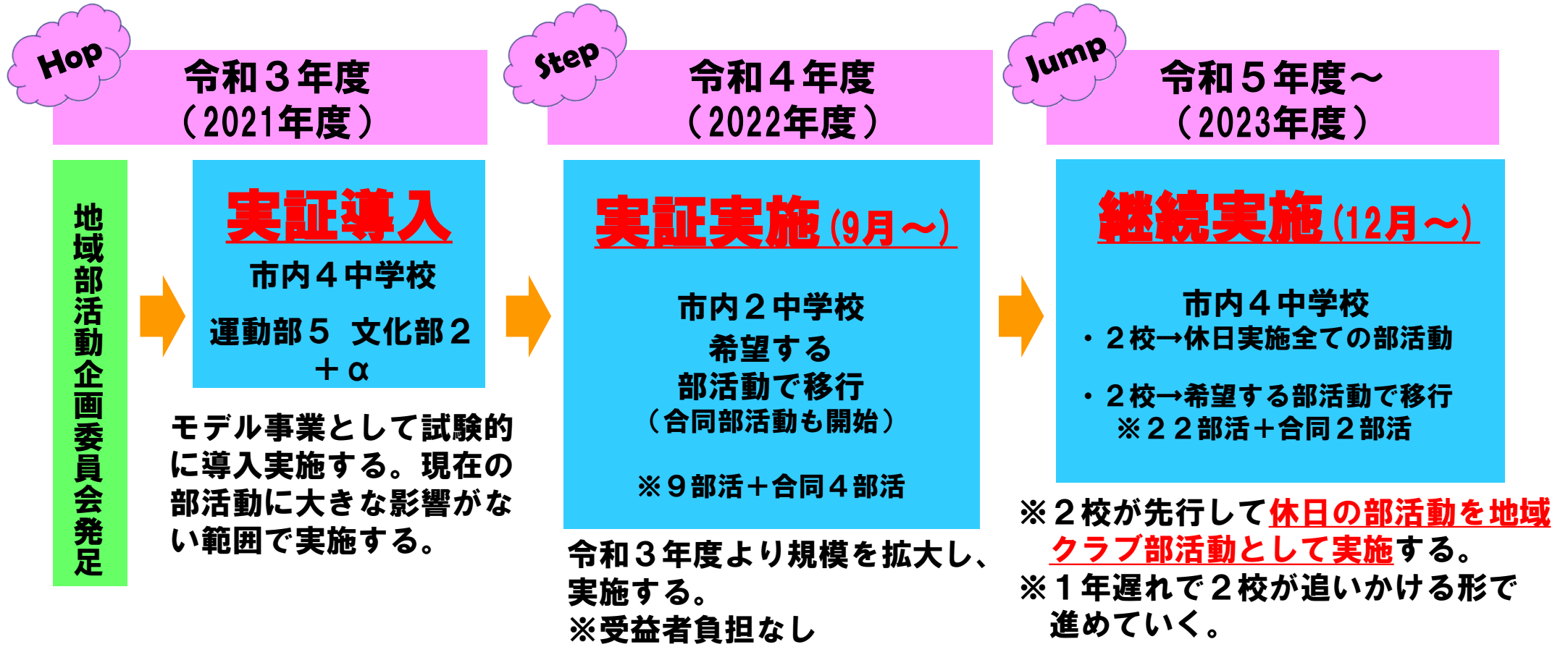
指導者は委託先
団体に所属する
形式をとる。

謝金は指導者に
委託先団体から直接支払う

地域クラブ活動の設置イメージ図



白岡市における地域クラブ活動のこれまでの展開



中学校部活動：中学校の**教職員が指導者**（顧問）となる現行の部活動
 地域クラブ部活動：**地域人材が指導者**（コーチ）となるクラブ活動
 ※これまでの外部指導者とは違い、中学校の教職員が立ち会わなくても単独で指導が可能となる。地域人材として、地域のクラブ指導者や保護者、退職教職員の他、現役の小・中学校の教職員が兼職兼業として指導にあたることも考えられる。

～令和6年10月まで

- 菫莪中学校 と 南中学校 は休日行う全ての活動を地域移行
- 篠津中学校 と 白岡中学校 は先行実施できる部活動のみ地域移行
(その他は、まだ部活動として活動)
- 合同部活動として、合同ダンス、合同プログラミング の実施
- 保護者の受益者負担 なし

【現在】 令和6年11月 ～

- 篠津中学校 と 白岡中学校 も休日行う全ての活動を地域移行
(白岡市内全ての中学校の休日の活動は「地域クラブ活動」)
- 保護者の受益者負担の導入
(令和7年1月から、事業費の一部を保護者に負担してもらう)



現在の地域クラブ活動一覧表（11月から）



	篠津中		菁莪中		南中		白岡中	
運動	軟式野球	男子			軟式野球	男女	軟式野球	男女
	サッカー	男女			サッカー	男女	サッカー	男女
	バスケットボール	男子	バスケットボール	男子	バスケットボール	男子	バスケットボール	男子
	バスケットボール	女子	バスケットボール	女子	バスケットボール	女子	バスケットボール	女子
	バレーボール	女子			バレーボール	女子	バレーボール	女子
					卓球	男子	卓球	男子
	卓球	女子	卓球	女子			卓球	女子
					ソフトボール	女子		
	ソフトテニス	男子	ソフトテニス	男子	ソフトテニス	男子	ソフトテニス	男子
	ソフトテニス	女子	ソフトテニス	女子	ソフトテニス	女子	ソフトテニス	女子
	剣道	男女			剣道	男女	剣道	男女
	バドミントン	女子			陸上	男女		
文化	吹奏楽	男女	吹奏楽	男女	吹奏楽	男女	吹奏楽	男女
合同								
	ダンス	男女	プログラミング	男女				

課題と成果

- ① 委託先団体（受け皿）について
- ② 指導者について
- ③ 活動時間及び活動日数について
- ④ 施設・用具の管理について
- ⑤ 大会・コンクールの在り方について
- ⑥ 受益者負担額と保険料について

課題と成果 ① 委託先団体（受け皿）について

- 令和3年度の委託先団体はPTAのOBを母体とした組織だったため、連携や調整についてはスムーズに行うことができた。一方、事業規模拡大について負担が大きくなり、請け負いきれない課題も見えた。
- 令和4年度の委託先団体は、民間企業となり、管理・運営面で安定していた。スペシャルな指導者を派遣してもらえた半面、指導者の継続性の部分及び地域で活動する団体等との連携で課題が見えた。
- 令和5年度11月より、現在の委託先団体「白岡Sport-Verein」に委託している。

課題と成果 ② 指導者について

- 現在の指導者数41名（市内在住の指導者14名、兼職兼業教職員22名、運営団体等5名）
- 小・中学校の教職員による兼職兼業を認めている。
- 教員の働き方改革解消に向けた取り組みでもあるが、兼職・兼業教員と地域指導者があった場合どちらを優先するのか？
- 指導者の評価システムや研修制度をどのように構築するべきかが課題

※指導者資格と指導者研修制度の必要性

課題と成果 ③ 活動時間及び活動日数について

- 中学校部活動と地域クラブ活動を統合した[白岡市独自の部活動ガイドラインを策定](#)
- 地域クラブ活動が休日（土・日・祝日）行われることで、教職員の負担が軽減され、平日の教科指導も充実している。
- 活動時間は1日3時間以内
- 活動回数は、令和7年1月から年48回以内（月4回程度）とし、休日に行う練習試合や大会も地域クラブ活動で参加する。
- 休日に行う練習試合や大会等で1日3時間を超える場合は、年48日（144時間）以内で調整することとしている。

課題と成果 ④ 施設・用具の管理について

- 地域クラブ活動は学校管理下外となるが、学校施設の優先的な活用について、学校施設や生涯学習の所管課と調整の上、施設の利用や施設管理をしており、現時点で特に大きな問題は起きていない。
- 活動時に破損等が発生した場合に、修繕や新たな補充等の対応について調整が困難となることが懸念される。
- 合同クラブ活動の実施にあたっては、場所の確保や施設の管理、責任の所在等において調整が必要となる。
- 学校の施設開放における他の団体との調整について、不公平感が生じないようにする必要がある。

開かれた学校にもつながり、地域としては好印象
学校を管理する立場としては、負担が増える

課題と成果 ⑤ 大会・コンクールの在り方について

- 日本中体連は、令和5年度から大会への参加を承認（R4.12月）
- 埼玉県中体連は、大会参加は学校単位が原則であるが、日本中体連が参加資格を緩和したことを受け、埼玉県においても地域クラブ活動について、一定の条件を設定した上で特例としての参加を認める。
- 部活動は平日の活動のみ、休日に行う練習試合や大会への参加については地域クラブ活動で参加する。
- 他市との「合同チーム」の在り方について現在検討している。

※地域は学校対抗の意識がいまだに根強い

課題と成果 ⑥ 受益者負担額と保険料について

- 月額2,500円（活動は、月4回程度）
受益者負担額は一律か？活動団体ごとか？
 - 地域クラブ活動を運営していくために必要な経費
 - 指導者謝金・指導者交通費・アプリ(Sgrum) 使用料・保険料
(保護者が負担)
 - 消耗品・運営スタッフ人件費・印刷製本費・通信費・その他諸経費
(公費で負担)
- 最終的には公費や補助金に頼らない地域クラブ活動が望ましい**
- 今後、種目数の増減や参加人数によっては、金額を見直す必要がある。

今後の方向性

- ① 合同での活動
- ② 拠点校での活動
- ③ 新たな合同部活動
- ④ 平日の放課後活動の検討

※持続可能で多様な地域クラブ活動になるために…

地域クラブ活動生徒数一覧表(種目別)

【別紙④】

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
軟式野球	篠津中	5	6		11
	南中	5	8		13
	白岡中	5	8		13

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
剣道	篠津中	9	13		22
	南中	1	2		3
	白岡中	10	8		18

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
サッカー	篠津中	7	3		10
	南中	10	0		10
	白岡中	0	0		0

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
バレーボール(女子)	篠津中	10	5		15
	南中	16	5		21
	白岡中	11	5		16

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
バスケットボール(男子)	篠津中	5	7		12
	菁莪中	2	7		9
	南中	3	0		3
	白岡中	4	14		18

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
バスケットボール(女子)	篠津中	9	7		16
	菁莪中	0	4		4
	南中	6	4		10
	白岡中	6	10		16

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
ソフトテニス(男子)	篠津中	10	5		15
	菁莪中	2	4		6
	南中	5	6		11
	白岡中	4	5		9

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
ソフトテニス(女子)	篠津中	9	9		18
	菁莪中	0	2		2
	南中	7	11		18
	白岡中	5	5		10

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
卓球(男子)	南中	7	6		13
	白岡中	10	3		13

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
卓球(女子)	菁莪中	2	3		5
	白岡中	12	5		17

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
吹奏楽	篠津中	17	13		30
	菁莪中	1	3		4
	南中	13	12	10	35
	白岡中	10	15		25

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
バドミントン(女子)	篠津中	2	10		12

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
陸上	南中	12	5		17

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
合同ダンス	全校	8	1	3	12

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
合唱プログラミング	全校	2	3	2	7

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
合計	篠津中	83	78	0	161
	菁莪中	7	23	0	30
	南中	89	62	10	161
	白岡中	77	78	0	155
	合同	10	4	5	19
	合計	266	245	15	526

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
ソフトボール	南中	4	3		7

調査日 1月21日現在

運営団体：白岡Sport-Verein

2025年度 今のままで成り立つ？

1 合同での活動

左図で青色をつけた部活動は、市内全体で20名前後の部員となっており全国同様の傾向となっているある種目である。こうした小人数の活動では、紅白戦での戦術練習もできずチーム力の向上について影響が出ているのではないかと懸念されている。

実際、サッカー部はそれぞれ蓮田市・杉戸町と合同チームで活動中である。このため、移動距離の課題もあるので市内での合同チーム活動が望ましいと考える。合同部活動として人的要因を確保でき、生徒間の交流が深まり切磋琢磨できる環境となることから生徒のスキルアップに期待ができる。

一方、赤色で囲った部活動では、特に1年生の参加が少ないことから、来年度以降の存続について不安が残る。このため、赤色の種目についても市内近隣校との合同部活動とすることによって、同様の効果が期待できる。

実際、バスケットボールでは菁莪中と南中の合同チームで1年生大会に参加している。

2 拠点での活動

緑色の種目は、市内で1校のみの活動となっている。このため、拠点校指定により、転校手続きは不要のままで他校から週末の地域クラブに参加できる環境を整備することで、市内全校から参加が可能となり充実した活動となる

合同や拠点校での活動（案）

1 合同での活動（案）



軟式野球
篠津中
南中
白岡中



サッカー
篠津中
南中



ソフトテニス
南中
菁莪中



バスケットボール
南中
菁莪中



剣道
南中
白岡中



吹奏楽
南中
菁莪中

合同での活動は、市内すべての中学校から参加することができて、市内全生徒が週末は自校の活動がない種目に参加することができる。

2 拠点校での活動（案）



女子ソフトボール
南中



バドミントン
篠津中



陸上競技
南中

拠点校活動は、平日の活動とは異なる活動で指定校となる学校で好きな種目の活動に参加することができる。

3 新たな合同部活動（案）

生徒・児童からのアンケート調査を実施しているので、これらを参考として、運動・文化ともに、あらたな活動を提案していきたい。

学校部活動にない新たな種目で、週末は平日とは異なる活動に参加できる。

4 平日の放課後活動の検討

スポーツ庁の方針では、補助事業を決定するにあたり、週末活動はもとより、平日の活動を実施する自治体を優先して補助対象としている。

このため、モデル校を指定して平日活動にも取り組む姿勢が重要となる。

（運営協議会資料から）



御清聴ありがとうございました